

3 西臼杵消防の歩み

西臼杵広域行政事務組合消防本部は、平成27年4月1日に県内10番目の消防本部として運用を開始した常備消防組織です。

昭和23年に消防組織法が施行され、宮崎県内でも次々と常備消防組織が設置される中、西臼杵郡（高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町）には常備の消防組織が置かれることはなく、長い間非常備消防組織（消防団）のみで火災等の災害対応に当たってきました。救急業務については、町役場あるいは町立病院に救急車を置き、役場職員等が119番通報を受けて出動し、傷病者を搬送する体制をとっていました。しかしながら、多様化する災害の形態、救急需要が増大するにつれて救急業務に専門的な知識が求められるようになってきたことなどを背景として、行政そして住民の間にも消防常備化の機運が高まってきました。

平成20年から消防常備化に向け、西臼杵消防常備化検討会等において具体的な検討が始まり、平成24年には西臼杵郡3町が消防常備化について覚書に調印。以降、庁舎建設、車両・資機材購入、消防・救急無線及び通信指令システムの整備など着実に準備を進め、運用開始にこぎ着けました。消防常備化に向けた動きから運用開始後の西臼杵消防本部のあゆみについては以下のとおりです。

平成20年	
12月	西臼杵消防常備化検討会及び作業部会発足
平成21年	
1月	常備化へ向けて広域消防視察（愛知県、静岡県）
2月	常備化へ向けて小規模単独常備消防視察（大阪府、和歌山県）
4月	第1回常備化作業部会 第1回常備化検討会
11月	第2回常備化作業部会
平成22年	
2月	常備化へ向けて視察（奈良県）
7月	第3回常備化作業部会
8月	第2回常備化検討会
10月	第1回常備化協議会
平成23年	
2月	第2回常備化協議会
4月	第3回常備化協議会
8月	第4回常備化協議会

平成24年	12月	第5回常備化協議会
	3月	第3回常備化検討会
	4月	第6回常備化協議会
	5月	常備化覚書調印式
	6月	第7回常備化協議会
	9月	第4回常備化作業部会
平成25年	1月	常備化へ向けて視察（大分県）
	4月	西臼杵広域行政事務組合発足
		西臼杵消防常備化準備室設置（高千穂町役場内）
		消防職員として任用予定の7名が消防学校初任科入校（高千穂町5名、日之影町1名、五ヶ瀬町1名）
		第1回常備化準備会（常備化準備室職員任命）
		消防庁舎、デジタル無線実施設計入札
	5月	第2回常備化準備会
		常備化準備室専門監に前延岡市消防本部消防長 三星文男氏就任
	6月	常備化へ向けて視察（熊本県、高知県、県内消防本部）
		消防学校（警防、特殊災害科）2名入校
	7月	消防学校（救助科）2名入校
		消防庁舎地質調査委託
	8月	第3回常備化準備会
		西臼杵地区広域消防常備化運営計画制定
	9月	三町（副町長）延岡市へ職員派遣依頼
常備化準備会 第1回財政部会		
10月	消防庁舎予定地造成工事開始	
	常備化準備会 第1回病院部会	
	常備化準備会 第2回財政部会	
平成26年	12月	消防学校（危険物科）4名入校
	1月	初任科卒業生（5名）延岡市消防本部で実務研修
		第4回常備化準備会
		常備化準備会 第3回財政部会
	2月	常備化準備会 第1回消防部会
		消防学校（火災調査科）5名入校
	3月	消防車両入札（消防ポンプ車他5台）

	消防庁舎建築主体工事及び消防救急デジタル無線・消防指令システム整備事業入札
4月	初代消防長に三星文男氏就任 常備化準備室長に甲斐教也氏就任 常備化準備室を5名体制に増員 (高千穂町3名、日之影町1名、五ヶ瀬町1名) 職員12名を採用し、10名が消防学校初任科入校 (高千穂町2名、日之影町5名、五ヶ瀬町5名) 消防庁舎起工式 消防庁舎備品入札
6月	常備化準備会 第2回消防部会を開催 第4回常備化準備会を開催
8月	連絡車(ホンダN-BOX)を購入
10月	常備化準備室専門監に前東児湯消防組合消防本部消防長 佐藤修三氏就任 消防学校(救急科)9名入校 (高千穂町2名、日之影町3名、五ヶ瀬町4名)
11月	消防学校(救助科)7名入校 (高千穂町4名、日之影町1名、五ヶ瀬町2名)
12月	水槽車(日野レンジャー)、ポンプ車(日野デュトロ)、救助工作車(日野レンジャー)を購入
平成27年	
1月	消防本部次長に佐藤修三氏就任 延岡市消防本部より職員2名(隊長級)の派遣を受け、開署に向けて訓練、地理調査、研修を開始
2月	消防学校(予防査察科)に3名入校 高規格救急車(トヨタハイエース)を購入
3月	器材搬送車(三菱キャンター)、指揮車(トヨタプリウス)を購入 消防庁舎建設工事が完了 消防救急デジタル無線、消防指令システム工事が完了
4月	西臼杵広域行政事務組合消防本部・消防署運用開始 職員36名(派遣職員2名含む) 西臼杵広域行政事務組合庁舎の落成式を開催 延岡市消防本部へ救急救命士1名が研修出向(6ヶ月間) 高規格救急車(2台)、軽救急車を高千穂町から譲り受ける 職員2名を採用し、1名が消防学校初任科に入校

	6月	消防学校（警防特災科）に2名入校
	10月	延岡市消防本部へ救急救命士1名が研修出向（6ヶ月間）
	12月	消防学校（危険物科）4名入校
平成28年		
	1月	消防学校（中級幹部科）に2名入校
	2月	消防学校（火災調査科）に4名入校
	4月	職員3名を採用し、1名が消防学校初任科に入校 延岡市消防本部へ救急救命士1名が研修出向（6ヶ月間）
	6月	消防学校（警防特災科）に2名入校 消防学校（救助科）に3名入校
	8月	宮崎県消防操法大会（審査員3名派遣）
	10月	延岡市消防本部へ救急救命士1名が研修出向（6ヶ月間）
平成29年		
	1月	消防学校（中級幹部科）に4名入校
	2月	消防学校（予防査察科）に4名入校
	3月	延岡市消防本部職員2名派遣終了
	4月	職員1名を採用し、消防学校初任科に入校（職員数35名） 救急小隊1隊を緊急消防援助隊に登録
	6月	消防学校（救助科）に1名入校
	7月	平成29年九州北部豪雨被災地（大分県中津市・日田市）に緊急消防援助隊として救急小隊1隊（第1～第2次、延べ7人）を派遣
	10月	延岡市消防本部へ救急救命士1名が研修出向（6ヶ月間）
	11月	平成29年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練に参加 （佐賀県武雄市 救急小隊・支援隊各1隊 隊員4名）
	12月	九州地区警防実務研修会（福岡市消防学校）に1名参加
平成30年		
	1月	消防学校（火災調査科）に2名入校 九州地区予防実務研修会（福岡市消防学校）に1名参加
	2月	アステラス製薬株式会社から高規格救急車1台の寄贈を受け救急3号車を更新 九州地区救急実務研修会（福岡市消防学校）に1名参加
		消防学校（警防・特殊災害科）に1名入校
	3月	消防学校（初級幹部科）に1名入校
	4月	第2代消防長に佐藤修三氏就任 職員3名を採用し、消防学校初任科に入校（職員数38名）
	6月	消防学校（警防・特殊災害科）に2名入校

	消防学校（救助科）に2名入校
8月	消防大学校（幹部科54期）に1名入校
10月	消防学校（救急科）に1名入校
	延岡市消防本部へ救急救命士1名が研修出向（6ヶ月間）
11月	平成30年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練に参加 （鹿児島県東串良町 救急小隊・支援隊各1隊 隊員4名）
12月	九州地区警防実務研修会（福岡市消防学校）に1名参加
平成31年	
1月	九州地区予防実務研修会（福岡市消防学校）に1名参加 消防学校（中級幹部科）に2名入校
2月	消防学校（初級幹部科）に3名入校 九州地区大規模災害等対応実務研修会（福岡市消防学校）に1名参加
3月	消防学校（予防査察科）に3名入校
4月	第3代消防長に日高一昭氏就任 職員2名採用（職員数38名） 高千穂町を会場として宮崎県消防長会春季総会及び宮崎県消防職員意見発表会開催され、意見発表会に職員2名が出場 九州消防長会消防職員意見発表会（佐世保市）に佐藤良亮消防士長が宮崎県代表として出場
令和元年6月	消防大学校（幹部科57期）に1名入校 消防学校（救助科）に1名入校
7月	消防広報「西臼杵消防だより」をカラー印刷4ページで発行
8月	消防・救急フェスタ2019を開催 全国消防救助技術大会（岡山市）水上の部（種目：基本泳法）に齊藤豪消防司令補が宮崎県代表として出場
10月	西臼杵広域行政事務組合のホームページ閲覧開始 消防長査閲訓練を初めて実施
11月	宮崎県が会場（高原町ほか）となった、緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練に運営員として6名参加
12月	消防学校（危険物科）に1名入校
令和2年	
1月	九州地区予防実務研修会（福岡市消防学校）に1名参加 消防学校（火災調査科）に1名入校
2月	九州地区大規模災害等対応実務研修会（福岡市消防学校）に1名参加

- 3月 消防学校（警防・特殊災害科）に1名入校
- 3月 消防学校（初級幹部科）に1名入校
- 4月 新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令（全国への発令は4月16日）
- 消防関係行事等は軒並み中止、延期、または規模縮小での開催